発 行 茨高・茨中PTA 代表 砂押完児 編 集 茨高・茨中文化広報委員会 水戸市八幡町16-1 電話 029(221)4936 茨高・茨中公式ホームページ http://www.ibaraki-jsh.ed.jp 印刷いばらき印刷㈱

昨年の一月に新型コロナウイ野学校におけるPTA活動にご等学校におけるPTA活動にごびがまして誠にのがとうございます。

中になりました。

しまった日々でした。それでもとなるためのイベントである、となるためのイベントである、となるためのイベントである、となるためのが勢力れていされ、大切なものが奪われてはされ、大切なものが奪われていまった日々でした。それでも

特に、大学受験を控えている



を頂きます。

PTA会長

砂

完

児

だ予断を許す状況ではないの ろしくお願い申し上げます。 負担になるかと思いますが、 授業ではありましたが、まだま 先生・生徒共に慣れない形態の 先生方のご協力のもと、 の軽減を考慮しながら、 いと思われます。先生方にはご インでの授業が行われました。 き続き、円滑な準備と運営をよ も学びの場を継続したいという 学業においては、 今後の実施も否定はできな 人との接触 オンラ 少しで 引

力することで、受験生も前向き ワクチン接種、 小傾向です。しかしこれからの に取り組み、 ごしていることと思います。しか 高校三年生は、不安な日々を過 受験に臨んでいってほしいと思 感染や変異株などの情報もあり よる波が来た時期になります。 とができると確信しております。 しながら、先生方と保護者が協 現状、国内ではコロナ禍は縮 など、明るい情報もあります より一層、注意しながら、 方では、 昨年も新たな変異株に 結果へと繋げるこ 経口治療薬の開 ブレイクスルー

います

回回

•

PTA活動においても、二年 るなど、通常のPTA活動がで るなど、通常のPTA活動がで きていない状況が続いておりま きでいない状況が続いておりま きを、生徒のために活動してい る方々も多くいらっしゃいま す。未曾有の大災害である新型 コロナ禍であるからこそ、皆が 協力し、生徒ひとりひとりが、 最良の学校生活を送ることがで 最良の学校生活を送ることがで



パンデミックの先の

克治

過去最多の感染者数を記録した新型コロナ第五波では、懸念されていた医療の逼迫が現実のされていた医療の逼迫が現実のものとなりました。病床の不足から医療機関に受け入れられが。自宅療養中に容態が悪化しず、自宅療養中に容態が悪化した患者が死亡する事態が相次ぎた患者が死亡する事態が相次ぎた患者が死亡する事態が相次ぎたした。「命の選別」に直面した医師が苦しい胸の内を語るニュース映像が流され、医療現場の苦悩と疲弊が浮き彫りとなりました。

数値にとどまっています。経済となどの途上国での接種率は低いなどの途上国での接種率は低いなどの途上国での方で、アフリカン接種が進む一方で、アフリカーを必然を投げかけました。日題にも影を投げかけました。日

格差がそのまま命の格差へとつながる事態が生じている、と明ながる事態が生じている、との指摘がなされています。WHOは今回の感染拡大を止められないった反省を活かし、「パンデかった反省を活かし、「パンデルった反省を活かし、「パンデルった反省を活かし、「パンデルった反省を活かし、「パンデルった反省を見するであるとのとの表の未来を見するて動き始めの先の未来を見するて動き始めています。

を実施することができました。 下間割に沿ったオンライン授業 形前校長時代から進めてきたイ が前校長時代から進めてきたイ では鬼 を措置しました。本校では鬼 を措置しました。本校では鬼 を措置しました。本校では鬼 を指置しました。本校では鬼

組み、茨高生、茨中生としての粘り強くオンライン授業に取りおり強くオンライン授業に取り

のグループだった、という結果 野にもたらしたものにICT活 い分けが大切になるということ 内容や場面に応じたICTの を発表しています。 同じ小説を読ませた結果、 のグループ半分には紙の書籍 エーの研究者が、小学校高学年 とにも注意が必要です。 ICTは万能ではないというこ て重要なツールです。 いていく可能性を有するきわめ Tは今後も様々な学びを切り拓 ライン授業にとどまらず、 用の促進があげられます。 気概を示してくれました。 をよく覚えていたのは紙の書籍 今回のパンデミックが教育分 もう半分にはタブレットで 要は、 一方で、 ノルウ 内容 I C オン

力でもありません。 知識を素早く正確に再現する能 を記憶する能力でも、 ない未来を生きることになりま 変えました。 ているのです。 いに果敢に挑む勇気が求められ 自らの頭で考え、 知性です。それは、大量の知識 るものは、 君は誰も経験のない、 パンデミックは世界を大きく その時、彼らを唯一支えう 本物の教養、 中学生、 正解のない 常識を疑 先の見え 本物の





中学:7月16日 高校:7月9日



作った益子焼は先月届きまし 印象的でした。絵付け体験で 徒のレンズが皆曇っていたのが の外に出ると、眼鏡をかけた生









資料館の見学と益子焼の絵付け ナの影響で、七月九日に、大谷









でとても神秘的でした。資料館 谷石の巨大な採掘空間は、壮大 がる天然の冷蔵庫ともいえる大 体験をしてきました。地下に広



高校二年の遠足は、例年、 高二学年主任 木村











取り組むことができました。参 施できたことが大きな喜びでし 事の素晴らしさに改めて気づく 加した生徒からは「楽しかった」 や水族館での研修、班別行動に 友と談笑しながら、会津若松城 た。当日は天気にも恵まれ、級 れるなか、まずは校外学習を実 の感染拡大により、多くの学校 そうに過ごす生徒の姿を見て、 た声が聞こえてきました。 行事が中止や延期を余儀なくさ 「もっと時間が欲しい」といっ くま洞とアクアマリンふくしま



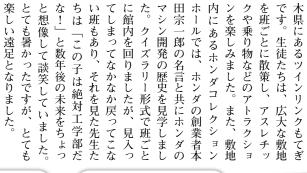






晴天の中、

に行ってきました。場所は、栃 四月から延期になっていた遠足 クイズラリー形式で班ごと ホンダの創業者本







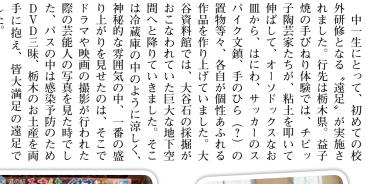




場のいずれの場所でも生徒たち とは昼食会場のスパリゾートハ の二カ所を交互に見学しまし の遠足を迎えることができまし 活動の重要性を改めて実感した の楽しそうな姿が印象に残りま 時に手を振ったくらいですが ワイアンズでバスがすれ違った た。私自身はC・D組を引率し いわき市の「アクアマリンふく 学年全体を二手に分けて福島県 た。我々は七月十六日(金) すが、ようやく入学して初めて まったため、二年生ではありま 次第です。 が、生き生きとした生徒たちの その時を含め、見学地・昼食会 ていたので、A・B組の人たち しま」と「石炭・化石館ほるる 昨年は結局中止となってし











_{茨高・中} 春 秋 第 134 号 令和3年12月23日









高校 10/29 中学 11/2 場所:茨城高等学校、中学校









1位:C組 2位:A組 3位:B組 1位:A組 2位:D組 3位:B組 2位:D組 · 2位:A組 3位:A組 · 3位:B組 4位:B組 · 4位:D組





